

ヨハン・ペーヴマン撮影

スウェーデンのパパたち写真展



入場
無料

申込
不要

「スウェーデンのパパたち」写真展が
和歌山にやってくる！

国内68会場巡回、17万人が来場。

海外65カ国でも展示。

育児休暇中のパパと子供の日常の様子を
ご覧ください。思わず頬がゆるみます。

2022年

開期：8月9日(火)～18日(木)

8月11日(木・祝)・15日(月)休館日

時間：9:00～17:30(入場は17:00まで)

(最終日の開催は16:00まで。入場は15:30まで)

場所：和歌山県男女共同参画センター“りいぶる”会議室A

(〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛9階)

TEL: 073-435-5245 FAX: 073-435-5247

eメール: libre@sirius.ocn.ne.jp)

*10月から「産後パパ育休制度」
(生後すぐから8週間以内に
4週間取得可能)が始まります！

【主催】 和歌山県

【協力】 駐日スウェーデン王国
大使館

【問合せ先】

和歌山県男女共同参画
センター“りいぶる”

スウェーデンには、パパ・ママクォータ制という
父親と母親合わせて「480 日間の育児休暇」を取得
できる制度があり、このうち「90 日間」は男性専用
(パパのみ取得可能)となっています。

「スウェーデンのパパたち」写真展では、自身の子供と少なくとも
6ヶ月一緒にいることを選んだお父さんと子供の姿を、写真家の
ヨハン・ベークマン氏が撮影した写真の数々を展示します。
なぜ、パパたちが子供たちと一緒にいることを選んだのか、子供との生活
からどんな経験を得ることができたのか。
日常の中にあるパパと子供たちのさまざまな表情や姿から、あなたは
どんなメッセージを受け取るでしょうか。

思わず頬がゆるむ、スウェーデンのパパたちと子供たちが
織りなす日々をぜひご覧ください。

この写真展が“育休取得”を考えるパパたちの
ロールモデルとなれば幸いです。

ヨハン・ベークマン氏の紹介とメッセージ



スウェーデン生まれの写真家。世界報道写真展、ピクチャー・オブ・
ザ・イヤー、ソニー・アワードなど、国内外の著名な賞を多く受賞。
自身も 19 ヶ月間の育児休暇を取得。

「母親であるか父親であるかとは関係なく
親の愛情を見せたかった。男女平等な社会へ
の重要なステップとなる様、より多くの男性が
父親として、またパートナーとして自身の役割
を振り返るきっかけとなることを願っている。」

